



## 地球人のあいさつ

年度当初に、毎年行っている「あいさつ運動」が出来なかったために、児童生徒会が自主的に「あいさつ運動」を行っています。中3の生徒諸君も手伝ってくれています。みんなで気持ちの良い挨拶を交わしましょう！



ニュージーランド国内ではコロナウイルスの影響はあまり感じなくなって来ていますが、全世界的には深刻な状況のようです。日本

の学校でも夏休みを返上して、分散登校・三密の予防（合唱や理科の実験観察ができない）マスク着用（お互いの表情が読みにくい）等の困難な状況の中で、先生も児童生徒も気を使いながら、授業を行っていると聞いています。まだまだ平常時には程遠いようです。そんな中でも世界中の子どもたちが手を取り合いながら、この困難に立ち向かおうと、「地球人のあいさつ」プロジェクトが立ち上がりました。これは世界中の日本人学校・補習校に通う子どもたちによって連句を作り、心と心の絆を結びあい、みんなで元気に頑張ろうという趣旨のものです。具体的には他者が詠んだ五七五調の上の句に七七調の下をつける言葉遊び（コミュニケーション・あいさつ）を連句といい、それに挑戦しようという試みです。例えばヨハネスブルグ日本人学校中学部1年生の「上見れば みんなも同じ 空見てる」という上の句に、他の学校の児童生徒が七七調の下を詠んで完成させるということです。現在、日本の9校の児童生徒より、上の句が送られてきています。それに本校の小6～中3の児童生徒が下の句を作って返信するという作業です。これに関わった子どもたちを「星友」と呼び、多くの星友が手を携えて世界中に広がり良い作品により心の絆の和が広がれば嬉しいですね。



## 中学部社会科について

先日の年次報告会でもご案内しましたが、本年度の中学部社会科の取り組みに関して、少し説明をさせていただきます。

日本の義務教育では、従来から教科書を中心に授業を進めてきました。現段階では公立高校入試は教科書の範囲を逸脱して出題してはいけないことになっています。すなわち、「中学校の教科書に書かれていないことは知らない」教育になっています。世の中には日本の九教科の教科書に書かれていない内容は膨大にあります。しかし、ニュージーランドの学校では、知らないことを学ぶ「学び方を学ぶ」教育が行われています。カンタベリー補習校に通う子どもたちは、ニュージーランドのその様な教育を受け、自分たちで調べ、自分たちで考え話し合い、自分たちで発表し合い、自分たちの学びを深める学習を経験しています。本校中学部の社会科では、そのようなニュージーランドの教育を受けて育った中学生に、日本の地理・歴史・公民の分野で「自分たちで知らないことを調べ、学び合い、それを日本語で発表し合い、理解・思考・創造を深める」授業ができればと考え実行してみることにしました。

これは世界中の補習校の中でも、本校だけが取り組めることができることだと思います。しかし中学部の先生方にとっては、従来にはなかったことであり、初めての取り組みです。どのような事象を扱って、どのような指導をし、どのような状況の授業形式が良いのか、現状では試行錯誤の段階です。授業形式が落ち着くまでしばらく時間がかかるかもしれませんが、生徒たちの反応や習熟度を見ながら進めていきたいと思っています。本校独自の新しい学びの形を目指して取り組んでいきますので、皆様のご理解、ご支援をどうぞよろしくお願い致します。



### 中学部1年生社会科

世界の各地の雨温図を比べ、生活の違いを発表しあいました